

あかねの里
令和 7 年度 第 6 回運営推進会議録

1. 開催日時 令和 8 年 3 月 19 日 (木) 16:00～17:00
2. 開催場所 あかねの里内会議室
3. 参 加 者

■	(利用者代表)
■	(家族会代表)
■	(地域住民代表)
■	(地域住民代表)
■	(出雲市高齢者福祉課)
■	(あんしん支援センター)
■	(ホーム長)
■	(介護職員)

【議題】

1. 運営推進会議を活用した外部評価の実施 について(IV)
2. その他
 - ★ 利用者状況 について

【内容】

当日、委員の皆様と話し合った内容については、別紙資料添付

Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）								
No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述	
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている	・入所前に、その人の生活歴等の情報収集をしている。又、入所されてからも本人及びご家族と相談しながら、ニーズや生活に関しての意向を把握するよう努めている。その中で達成可能なものから実現できるよう取り組んでいる。 ・自分の思いを伝えることが困難だったり、思いに沿うことができないことがある中で、安心・安楽な毎日が過ごせるように支援している。				
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている	・各利用者へのケア・支援については、一律的なものとならないよう心がけている。物品等の持ち込みについては原則了承・推奨しており、使い慣れた物や、思い出のある物を持ってきていただくようお願いしている。昔の写真や作品などを居室に置き思い出していただいたり、会話の中で触れたりしている。 ・家族から得た情報をもとに、個々に合わせた				
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている	・各利用者に対し、毎日検温や血圧測定等を行い、記録に残している。又、一人ひとりの体調を把握し、入院時などには医療機関等に向け、情報提供を行っている。 ・数値化できない日々の行動や表情、反応等についても個人記録に情報を残し、ケアや支援に活かしている。 ・在宅生活時からのかかりつけ医に入所後も担当を希望された際は、継続して担当してもらっている。なじみの医師による継続した訪問診療を受けることにより、入所後の生活がより安心感のあるものになるよう努めている。 ・危険認知能力の低下があり、思い立って行動され転倒等の危険があるかたに対し、日々の状態を記録に残し職員間での情報共有を図っている。その際には、日頃の様子などを細かくアセスメントし、その人の望む暮らしに近づけるよう心掛けている。危険＝抑制ではなく、本人の思いに耳を傾け対応している。		A. 充分にできている （満場一致）	環境の変化や気候に合わせて、職員の皆さんが色々と注意をしておられ、ご利用者様も安心して生活できているので、良いと思う。	

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできています	入浴について強く拒否される方がおられるが、適宜声掛けなどをして勧めてはいるが施設として無理に入浴をしてもらうなどの対応はしていない。食事について起床時間が遅い方は起きてこられる時間に合わせて朝食を提供する等その方の生活リズムに合わせた対応をしている。 ・集団生活の場であることを念頭に入れながら、できる範囲で皆様と一緒に過ごせる時間があるように声掛けは実施しているが、無理はせず、本人の意向を尊重し、体調に合わせて対応することに努めている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできています	・入所時に本人のなじみのもの(家具、趣味のもの等)があれば持参していただき、今までの生活環境に近づけるよう取り組んでいる。 ・毎年の敬老会にて贈呈するお祝い状や誕生日に贈る寄せ書きを、各利用者の居室に飾り、思い出を振り返ることができるよう取り組んでいる。 ・利用者がかつて描かれた水彩画を、家族から寄贈いただきリビングに飾っている。 ・小説や雑誌を自室に置いておられる利用者様がおられる。自分のペースで読まれることで充実した生活を送ることができる。 ・リビングにひな人形や五月人形をその季節に合わせ飾っている。利用者の皆様に季節感を感じていただくよう、毎年その取り組みを継続している。 【補足説明】 「自宅での生活」に近づけるよう環境整備に努めている。それまで使っていたなじみの物や大切にしている物(湯呑や腕時計、ネックレスやお守り等)を入所されてからも身近に置いたり、身につけることが普通に行けるということを心掛けている。それをもとに、自己評価をAとする。		A. 充分にできています (満場一致)	入所前の環境と変わらない状況を心掛けておられる点はとても良い事なので継続してほしい。 Q ちなみにこういった物の持込みが多いのか？ ⇒A 家具、本、写真等人により様々。 Q 季節の飾りはどのようなものか？ ⇒A 節句の飾りの他、工作した飾りや塗り絵など、利用者様が作成されたものなどを飾っている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	B. ほぼできています	・外にでかける計画を立て、外出を促している。天気の良い日にドライブを計画したり、外のベンチに座り外気を浴びていただいたりしている。 【補足説明】 以前のような頻度ではなく小規模で、地域のイベントの参加等の実現には至っていないため、自己評価をBとする。	■■■■ (家族会代表) 感染症などの問題があると致し方ないかと思う。少しずつ変化していくと良い ■■■■ (地域住民代表) 広報誌「すまいる」にて色々とおられる様子が分かり、見ていて楽しく感じている ■■■■ (地域住民代表) ばんないさんなど地域伝統の催しを、職員さんがやってみるのも楽しいと思う Q どこに出かけたりしているのか？ ⇒ A 季節の花や紅葉などの名所(愛宕さん、一畑薬師)やゴビウスなどの施設の他、日本海を眺めたり、駅伝応援など様々		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	B. ほぼできている	・洗濯物を干す、畳む。シーツ交換をする等できる範囲^内で役割を持っていたい。ちぎり絵などの作成を協力しながら実施している。 ・散歩が趣味の方など、人員やリスクの問題があり実施できていない。 ・本人が今まで培ってきたことは、自然に身体が覚えていたり、記憶として残っているので、しやすい環境を作って取り組んでもらえるよう心掛けている。 【補足説明】 個々の能力に応じて家事などの役割を担っていただいているが、転倒などの事故のリスクを見極めながらお願いしている。もっと能力を引き出すことができないか検討している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている	・利用者一人ひとりの「出来ること」「好きなこと」「やりたいこと」に着目しながら、家事等(洗濯物たたみ、シーツ交換、膳拭き等)の役割を担ってもらっている。 ・利用者のかたのこれまでの生活歴を本人自身や家族から伺うことや日々の会話から興味のあることを引き出し、活動的に過ごしていただけるよう努めている。 ・意思の表明が難しいかたには、思いを聞き出す方法として、何気ない会話や思い出話を積極的に交わすよう心がけている。そのアプローチにより思っておられる事を引き出すよう努めている。 ・利用者と交わす昔の苦労話では心からのねぎらいの言葉を贈っている。又、余暇活動の際には各利用者に肯定的な声かけを行うよう努めている。それが、認知症の進行により自信や自尊心を失いかけているかたがたにとって、いきいきした時間を取り戻すことにつながるとの意識を持ち取り組んでいる。		A. 充分にできている (満場一致)	入所している自分の家族も、色々忘れる事があるが、会話の中で思い出し、いきいきと目を輝かせて話をする様子も聞く。これからも沢山話してあげてほしい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている	・出雲駅伝の応援に出かけた。 ・毎月1回を目標に外出する機会を提供することを心掛けた。(夏場は高温のため中止した) ・家族や親族の方に面会に来ていただいている。また、看取りケア実施中の利用者様については面会制限を設けていない。 ・毎月1回ボランティアの方に来所して頂き歌の会を開催している。 ・「出雲市立中学校職場体験学習」「平田中学校職場訪問」を実施し学生の受け入れをした。 ・島根県立大学老年看護学実習の受け入れをした。 ・運営推進会議に利用者代表として1名出席していただいている。	■■■■ (高齢者福祉課) ■■■■ (支援センター) 様々な方の出入りあり、良いと思う ■■■■ (家族会代表) 海外の方、学生さん等異文化交流など良い ■■■■ (地域住民代表) こうした取組が広報誌で記録されて良い ■■■■ (地域住民代表) 子供神楽など招待すると喜ばれるのでは？		
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている	・2カ月に1度発行している「あかねの里広報誌」を近隣2町内に回覧を依頼し、当事業所の活動を知っていただくよう努めている。 ・利用者と職員がなじみの関係が構築できるよう努め、思っていることを言ってもらえる関係性を築いている。 ・新年会や敬老会等の行事で、各利用者様の笑顔が多く見られるよう努めている。又、そのことが職員にとっても喜びとなるような施設づくりを目指し取り組んでいる。 ・地域合同避難訓練には地域住民のかたに参加していただいている。継続的に地域とのつながりが保てるよう全職員が心がけ取り組んでいる。		A. 充分にできている (満場一致)	地域ができて25年となるが、近況として昔からの流れを知らない世代が自治委員をすることもあり、有事の際の連携が取りにくい状況がある。町内でもそうしたときの対応が上手いように努めたい